

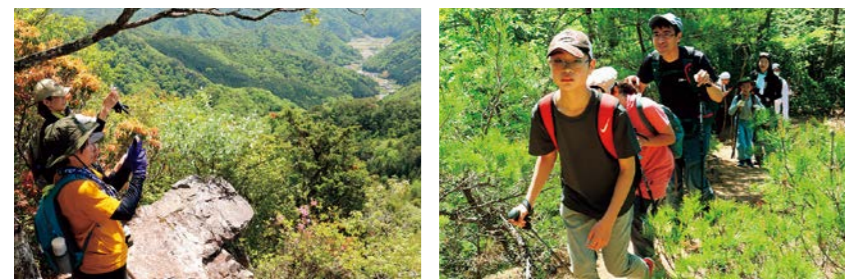
丹波篠山の日誕生祭(5月1日)

市名変更により「丹波篠山市」が誕生してから5年となる5月1日に「丹波篠山の日誕生祭」が開催されました。イベントでは篠山鳳鳴高校書道部のパフォーマンスや、一斉に空へ風船を飛ばす催しなどが企画されたほか、夜には篠山城跡の石垣に美しいプロジェクションマッピングが現れ、丹波篠山誕生5周年を鮮やかに彩りました。



丹波焼の里 春ものがたり(4月27日~5月5日)

色とりどりの丹波焼との出会いや、盛りだくさんのイベントが楽しめる「丹波焼の里 春ものがたり」が、丹波伝統工芸公園 立杭陶の郷周辺で開催されました。恒例の「軽トラ市」や「トチノキマルシェ」に加え、窯元さんとともに制作が行える新しいイベント「ワークショップin工房」の開催、窯元横丁のリニューアルなどもあり、にぎわいを見せました。



新緑の中、登山を満喫(5月5日)

市では、子どもたちが里山や木と触れ合う機会づくりのため、5月5日を里山の日と定めています。この日は、絶好の登山日和の中、多紀連山と弥十郎ヶ嶽で山開きが行われ、約140人が山頂をめざしました。市内最高峰の御嶽(793m)を主峰とする多紀連山の火打岩登山口では約80人が登山を開始。参加者らは、野鳥の声が響く新緑の自然を満喫しながら、思い思いのペースで登山を楽しみました。



千葉ロッテとスポンサーシップ契約(4月24日)



大船渡市長、酒井隆明市長、高坂俊介(こうさかしゅんすけ)球団社長、三沢市長、苫小牧市副市長(左から)

千葉ロッテマリーンズとスポンサーシップ契約を結び、今年は本市のほかに3自治体(北海道苫小牧市、青森県三沢市、岩手県大船渡市)が契約を結びました。今年の「丹波篠山黒豆ナイター」は、7月31日にZOZOマリンスタジアムの埼玉西武ライオンズ戦で開催します。

とっておきの音楽祭(4月20日)



障がいのある人もない人もみんな一緒に音楽を楽しむ心のバリアフリー音楽祭「とっておきの音楽祭」が開催されました。市内外の障がい福祉サービス事業所やアーティストら総勢88組が出演し、手話うたやダンスなどで観客と一緒に音楽を楽しみました。

篠山まるごと丼の日

「篠山まるごと丼」の給食提供(5月10日)



市内の学校園で、「篠山まるごと丼」が給食として提供されました。農都のめぐみ米、丹波篠山産の山の芋、牛肉などが使われている、特産物がつまったこだわりの「篠山まるごと丼」。子どもたちは「お肉や山の芋がとておいしかった」と笑顔で話しました。

認定新規就農者に吉田啓記さん(5月10日)



合同会社よしだ農園代表の吉田啓記さんが認定新規就農者に認定されました。経営するアパレル販売会社で始めた黒枝豆のネット販売が人気に。翌年には「自分で育てて栽培の背景や思いを伝えたい」と農業を始め、現在は藤坂で活動されています。「丹波篠山の黒枝豆のおいさを広めたい」と抱負を語りました。

丸山響生さん全国大会出場(4月30日)



篠山鳳鳴高校1年生の丸山響生さんが、4月20・21日に開催された「JOCジュニアオリンピックカップ武術太極拳大会」に出場されました。結果は入賞。丸山さんは「大会の雰囲気になれ、小さなミスが目立った。もっと練習を重ね、9月の国体では悔いが残らないようにしたい」と意気込みを語りました。

キッチンカーがやってくる(4月29日)



ワクワク農村未来プランの取り組みとして、曾地奥でキッチンカー4台が来るイベントが開かれました。普段顔を合わせる機会が少ないため、地域の住民同士が交流できるよう老人会と自治会が企画。約80人が参加し、食事とともに楽しく語りました。

